



野田市国際交流協会 NIA

Noda International Association

第9号

ファンファール
ニア

2001年9月20日発行

平成13年度総会で事業が決定

平成13年4月28日(土)午後1時から野田市役所2階中会議室に於いて、野田市国際交流協会の総会が開催されました。

平成9年度から会長を務められた田中力氏に代わり、新会長に中田秀雄氏が決まりました。前会長から今年度は国際ボランティア年として世界各国で取り組み、将来国の中で大きな位置を占めてくるとして(1)国際理解(2)国際交流(3)国際的に開かれた心を重視した事業の展開を図るべきと3つの提案がありました。

野田市長からは、長期構想から徹底した市民参加として少しずつ形が出来てきたとのお言葉がありました。

審議も無事終了し、今年度の事業がスタート出来ました。夕方から新旧役員の懇親会がもたれました。

平成13年度の新役員並びに各部長・副部長が決まりました。

会 長	中田 秀雄	日本語教室部	安弘美和子
副 会 長	酒井 幸子	同 副 部 長	下川原澄子
同	古川 滋	学校支援部部長	中山 久子
事務局 長	中山 久子	同 副 部 長	安田久美子
会 計	石川 智子	〃	石川 智子
書 記	中山 禎子	イベント部長	桑原 時夫
同	村田 三枝	同 副 部 長	間中 信彦
幹 事	山本 武夫	友好交流部部長	小川 芳枝
同	増田美江子	同 副 部 長	富山 玲子
広報部長	古川 滋	〃	酒井つかさ
同 副 部 長	藤巻 明子		

次に今年度の各部の活動計画を各部長に語ってもらいました。

総務・広報部

総会終了時の部員は居ませんでした。各部から一名選出しスタート、学生会員の方も入部してくださいました。

会員向け情報誌『ミニ通信』の発行、会の機関誌『FANFARE』の年2回発行を目指して活動しています。

七夕まつりに向けて入会案内パンフレットを作成しました。

※部員大募集! お気軽にどうぞ。

日本語教室部

日 曜 コ ー ス	平 日 コ ー ス
日曜日 午後3:00~4:30まで	月曜日 午前10:00~11:30
市役所7F*学習者は一回につき 100円(コピー代)	

日本語教室の学習者の方に国際交流協会のイベントに多く参加して頂き、生きた日本語の学習と共に国籍を超えお互いに理解を深めることが出来ればと考えています。

日本人会員に対しては、連絡を密にして教室に参加し、意欲的に活動できる雰囲気を作り又、市報等を利用しスタッフ募集もしていきたいと考えています。

月曜コースは主婦の学習者が多いので学期毎にお休みを設け活動しております。

今年度の活動として

- ① 9月30日 国際交流まつり参加
- ② 2~3ヶ月に1回、学習者とスタッフの親睦を深めるため授業時間後約30分を使いゲームを行っています。
- ③ 日本語養成講座・会員の為(内容は検討中)



学校支援部

昨年までボランティア部生活相談グループとして活動して参りましたが、今年度から分離し、名称を学校支援部と改めスタートしました。活動の内容としては昨年度と同様、日本文化の紹介(日本独特の習慣や料理等)や外国人の為の救命救急法の実施など年間10回程度を目標に計画しています。学校支援(市内及び近隣小学校に国際理解教育のサポート)は出来る範囲で実施していきたいと考えています。

外国人子女・在住外国人の方が少しでも住みやすい野田市に、又、祖国に戻られるとき、野田市の印象を深く心に刻んで頂けます様、努力して参ります。

この二年の生活がとてものしかったです。みなさんのおかげで、日本の生活や、文化や、習慣などいろいろよくわかりました。何回も小学校に行きました。日本の小学生の生活や、学習、活動もわかりました。国際交流会の中山さん、安田さん、倉林さん、太田さんと一緒に餃子をつくったり、お手玉をつくったり、赤飯、おにぎり、煮物などをつくりました。とてものしかったです。

楊春鳳さんに寄せて！

学校支援部

楊春鳳さんが、野田市及び国際交流協会に学校支援での協力と数々の思い出を残し、6月29日母国の中国・深川へご一家で帰国されました。学校支援部との初めての出会いは2年半前です。最初は、南部小学校のワールド集会でした。その時は、中国の生徒が通訳をしていました。2年前、南部小学校の紹介でお嬢さんの牛 姜 維ちゃんニウ ジヤン ウェイと2人で南部公民館へ顔を出してくれました。片言の日本語しか分からずお嬢さんを介したり、黒板に文字を書いて、理解する程度でした。その時、日本語教室へ紹介し、私共は日本の文化・日常的な習慣・行事・日本料理など共に学んできました。この2年間でご主人が驚く程早く、日本語も上達し沢山のお友達に囲まれ、日本の生活を楽しんでくれたようです。

最後に突然の帰国が決まりとても残念！という言葉と共にお礼にと日本の子供達に西安の兵馬俑坑をプレゼントしてくれました。素敵なお会いを持つことが出来たことを心から感謝すると共に、楊さんご一家の健康と益々のご活躍をお祈りしております。

中国 楊春鳳

私は日本にきてからそろそろ2年8か月になります。いまでも日本にはじめて来たことをおぼえています。娘と一緒に不安をしながら野田市に住みはじめました。とにかく娘は南部小に入りまして、すぐ夜だちができました。当時娘は日本語全然わかりませんでした。手話で夜だちと交流でき、一緒にあそびました。当時拙父の血交兄弟も娘をつれてあそびにいきました。娘はすぐ学校の生活がなれましたが、私は家にいてかなりの淋しかったです。日本語の勉強もおぼった。そのあとよくとし七月、私は予約日本語教室にはいりました。日本語を見る見るうちに伸びてきました。ここで日本の文化、歴史などたくさん教えていただきました。それから2年になりましたが、私は野田でたくさんの方と友だちができて、楽しい日々がすごしました。今月月末私と家族中国に帰る事が決まりました。さよならしい日本、このうつくしい野田を去る前に、私は感謝の気持ちはいっぱいです。ありがとう日本、そして、ありがとう、野田市の皆さん、また、皆様の健康を祈りして日中永遠友好のことを心から祈ります。どうもありがとうごさいます。



友好交流部

- 8月3日～4日・ホームステイの実施
七夕まつりに参加
- 留学生が先生プログラム……2月頃予定
- 友好都市提携に向けての調査

留学生を迎えて

留学生に日本の文化や生活をもっと楽しんで頂こうと、8月3日～4日にかけて、ホームステイを企画実施しました。

(財)ちば国際コンベンションビューローの協力のもと東京理科大学(野田キャンパス)で学んでいる留学生ASEAN 10ヶ国の中から中国人2名、ベトナム1名、マレーシア1名の男女4名、4家庭で受け入れました。

おどりパレードに参加した留学生達は、思いおもいに各自が踊りに酔いしれて楽しい一時を過ごしたと思います。又、留学生を通じて繁栄と共に失った色々なものを学ばせて頂き、自分を見直す機会が得られました。

今回のホームステイで色々な方の助言を頂き、多くの方のご意見を参考に協会が一体となり、無事終わることが出来たことにたいし心からお礼を申し上げます。

※当協会初のホームステイプログラムが実現しました。広報部ではアンケートを作成し依頼した所、ゲスト4名全員から回答が得られましたので紹介します。

(無記名、原文のまま)

- ①日本を選んだ理由
 - 日本が好きだからです。日本の文化と技術とか学びたいです。
 - 子どもの時に、日本の電気製品に憧れて、電気知識を勉強にきました。
 - 中国で仕事していた時、自分の知識足りないと思いました。日本に住んでいるおじさんはまじめの理科大を私にすすめられました。
- ②日本の印象・感想(野田市に対して)
 - 思ったより良かった。野田市はいい町で、ほんとに住みやすい町です。
 - 野田市に一番いい印象は野田市役所がすごい大きいし、きれいです。
 - 普段たまに、野田市こないで、今度きたら、野田市の方々とても親切でやさしく大変よかったと思う。
- ③日本で驚いたこと

●特になし（全員）

④日本のギャルファッションにたいして

- 好きではない。不思議に思った。最初ちょっとびっくりした。でも慣れたら、それも一つの文化だと思う。
- だいたいみんないいファッションしていると思う。
- ちょっと好きではない。例えば、ぐちゃぐちゃの髪とかみじかさぎのスカート。

⑤日本人の拘わりかたで負担になった事を経験

- 特になし（3名）
- 日本語うまくないのに、“日本語上手ですね”と言われる時は、こまります。

⑥いやなこと・困ったことを感じた時

- 特になし（2名）たまにある時は、日本の友人は助けてくれた。感動しました。
- 食べ物は日本にくる時に一番大変なこと。

⑦日本（野田市）に対して望む事

- 特になし（2名）
- これからもこのような国際交流もっとあればいいなと思う。
- これからもっといい町になれると大きい町になってもおなじ雰囲気で行ける。

《忙しいスケジュールの中、ご協力ありがとうございました。》



イベント・研修部

- ①ミステリー・バスハイク（6月3日に実施済み）50人参加
実は茨城県水海道市の『あすなろの里』で（手打ちうどん）等体験。
- ②七夕まつり（8月3日～5日実施済み）
踊りパレードに55人が参加。
飛びたい野田ノ空でいい野田ノ（鳥人間チーム）と野田スカイスポーツ振興会の両チームとの共同参加。
- ③国際交流まつり（9月30日）
- ④談話室（外国語体験講座）
継続的な外国語の研修会ではなく、各回限りの外国語体験。
- ⑤料理教室（年2回予定）
外国の料理と日本の料理を1回ずつ予定。

初めての踊り

日本は伝統と現代文明併存の国です。私は日本に来てまだ1年。いろいろな文化を習っています。

そして今回は楽しみに市役所の先生や友達と一緒に参加した七夕祭りのパレードの踊り。

8月3日の夜7時に私は集合地に来ました。その時踊りの道には人がもういっぱいいてとてもぎざぎざでした。長い道の両端は彩色な七夕のおびやカザリ物がたくさんあり、その風にたびいていてたいへん美しかったです。

7時半頃着頭を伴ってみんなは踊り始めました。私はそれまで日本の踊りについてぜんぜん知りませんので気分がとても緊張してはがうれしかったです。周りのきれいかたをまわっている人々は踊りがたいへん上手でした。私もすぐ上手になりたいので一生懸命に見ながら勉強しました。さいはいくち勉強しても上手になりませんでした。すごくはがしかたです。30分位過ぎた頃私はとうとうできました。そしてたんだん上手に踊れました。

いつのまにか9時になりパレードは終わりました。1時間半の踊りとても取れましたが楽しかったです。来年の七夕踊りも参加したいと思います。

林欽平

事務局

平成13年度協会全体として活動するイベントとして9月30日（日）南部梅郷公民館に於いて“国際交流まつり”を開催致します。内容としましては

- 野田市立南部小学校吹奏楽演奏
- 外国人による日本語スピーチ大会
- 外国人の為の相談コーナー
- 国際理解サロン・茶道・外国料理等企画しております。

会員皆様のご協力をお願いいたします。

東葛地区国際交流協会連絡協議会主催

11月11日（日）自然の家まつり

千葉県立手賀の丘自然の家

国際ボランティア年に思う

会長 中田 秀雄

野田市国際交流協会も先輩方々の努力で基礎が固まりつつありますが、今年は国際ボランティア年でもあり、次の世代への移行時期でもあります。社会システムも交通やITの急激な進歩により社会構造もネットワーク型に変化しつつ従来のピラミッド型だけでは成立しません。長期にわたる冷戦が終ってから変化が始まりここ数年には顕著なものがあります。ボランティア活動については、100年以上も歴史のある欧米に比べて、日本は、必ずしもその真意が理解されず、嘗て自由が導入された時に、何か、履き違いがあったことを思いだします。我々の活動は世界の動向を把握し、又、ボランティアには環境に応じて種々な活動がありますが、効果的にする為には我々としての考え方と目標を明示し、又変化に応じるには、合議のもとに変化に即対応出来る組織活動が大切です。野田市にも1,200人以上の外国人が登録され、又何人の市民が、勉強、仕事等で外国を経験しているのでしょうか？多くの人材や団体があります！互いに協調し合い、理念・目標を定め、人材を活用して、楽しく、グローバル化（Globalization）を念頭に置いて幅広く活性化に努力したく思います。

踊りの感想

王輝

野田市七夕まつりは8月3日におこなわれた。私は去年日本に来て以来、はじめてまつりに参加した。

まちにまつた8月3日が来た。友達の木さんは一緒にまつりにいって約束をした。大勢の人達は中着を着て、うちわを持っていた。若者が日本の伝統を守ってことがいいと思っていた。私ははじめて日本の踊りを習った。前の人が見ながら踊った。市役所の先生は「上手ですね」と言ってくれた。私はとてもうれしかった。時間が経つにつれて、たくさんなっていた。すこしづつ減った。

電車で帰っていた時、私はこんな思っていた。七夕は中国昔の神話だ。毎年7月7日になったら、女の人達は月にまがって祈った。この風習は今では中国におこなわれなくなった。現在、七夕は日本の伝統文化になっている。七夕ではなく、もともと中国で生まれた風俗や習慣など日本に伝わると日本人によって改良がかわえられて、さらに日本固有の文化として発展している。



新会員紹介

今年度において、下記の人及び団体法人が会員になりましたので、紙面をかりてお礼を申し上げますと共に、紹介いたします。

(50音順)

*遠藤 慶玉
*小川 千代子
*金 栄美
*鄭 美卿
*松田 幹枝

*野田東ロータリークラブ
〒278-0035
野田市中野台168-1
野田商工会館内5F

お知らせ

平成13年度 南米日系人のための合同研修会

日時：11月4日（日）午後1時30分～4時30分
会場：千葉市文化センター 5階セミナー室ほか
(千葉市中央区中央2-5-1)

参加対象者：原則として千葉県在住の中南米日系人
(他府県在住者 でも可)

内容：*「労働災害と労災保険」と「雇用保険」に関する講演と相談。当日、労働・職業・生活相談も受けま
*「日本で働く日系人のためのガイドブック」「労働・職業生活相談事例集」「職場で役立つ日本語会話集」(含・日本語テープ)他の資料を配布いたします。
*当日はポルトガル語(ブラジル)とスペイン語圏の2会場に分かれ、それぞれの言語で行います。
*研修会終了後、意見交換をかねた懇親会を開きます。午後5時より1時間。

参加費：無料。参加者全員に記念品とテレフォンカードを差し上げます。

主催：(財)産業雇用安定センター・厚生労働省・千葉労働局
《問い合わせ先》

(財)産業雇用安定センター千葉事務所 担当：佐倉/林
電話 043-225-6072 FAX 043-225-3815

編集後記

長かった夏も終わりをづけ、秋の気配が感じられる今日この頃となりました。9月30日は協会の最大イベントである“国際交流まつり”を異文化理解を深めると共に地域に根ざした国際交流として楽しく過ごして頂けるように企画しました。

当日は会員皆様のお友達とお誘い合わせの上お越し下さい。

古川 滋

私たちといっしょに国際交流をしましょう。
どなたでも気軽に参加できます。お待ちしております。

【年会費】

個人会員 2,000円 家族会員 3,000円(家族何人でも)
外国人、学生徒 1,000円 団体・法人会員 10,000円

野田市国際交流協会

〒278-8550 千葉県野田市鶴奉7-1
(野田市役所 企画調整課内)

Tel.0471-23-1065 Fax.0471-22-1557

http://www.runtec.com/nira/